

平成 29 年度 事業報告書

自平成 29 年 4 月 1 日
至平成 30 年 3 月 31 日

I. 会務報告

(1) 通常総会（2017 年 5 月 31 日 於：TKP スター貸会議室根津）を開催。

下記の議案が承認された。

第 1 号議案：平成 28 年度事業報告

第 2 号議案：平成 28 年度収支決算報告

第 3 号議案：平成 28 年度監査報告

第 4 号議案：平成 29 年度事業計画

第 5 号議案：平成 29 年度収支予算計画

(2) 監査を下記期日に開催した。

2017 年 5 月 29 日 日本保全学会会議室

(3) 理事会 4 回を下記期日に開催した。（メール審議を含む）

第 1 回 2017 年 5 月 29 日 日本保全学会会議室

メール審議 2017 年 7 月 7 日

第 2 回 2017 年 12 月 19 日 日本保全学会会議室

第 3 回 2018 年 3 月 29 日 日本保全学会会議室

(4) 企画運営委員会 5 回を下記期日に開催した。（メール審議を含む）

第 1 回 2017 年 5 月 26 日 日本保全学会会議室

第 2 回 2017 年 9 月 27 日 日本保全学会会議室

メール審議 2017 年 12 月 7 日

第 3 回 2017 年 12 月 19 日 日本保全学会会議室

第 4 回 2018 年 3 月 22 日 日本保全学会会議室

(5) 編集委員会 4 回を下記期日に開催した。

第 1 回 2017 年 5 月 16 日 日本保全学会会議室

第 2 回 2017 年 8 月 21 日 日本保全学会会議室

第 3 回 2017 年 11 月 14 日 日本保全学会会議室

第 4 回 2018 年 2 月 13 日 日本保全学会会議室

(6) 財務委員会 2 回を下記期日に開催した。

第 1 回 2017 年 5 月 25 日 日本保全学会会議室

第 2 回 2018 年 3 月 20 日 日本保全学会会議室

(つづく)

II. 事業報告

(1) 会誌等の刊行

下記の会誌、予稿集を刊行した。

- ・ 日本保全学会誌『保全学』 Vol. 16-1, Vol. 16-2, Vol. 16-3, Vol. 16-4
- ・ 日本保全学会 第 14 回学術講演会要旨集
- ・ JSM SEM 018 第 18 回保全セミナー予稿集
- ・ EJAM Vol. 9-1, Vol. 9-2, Vol. 9-3, Vol. 9-4
- ・ 状態監視技術便り Vol. 10-1, Vol. 10-2, Vol. 10-3

下記の報告書を発行した。

- ・ JSM CPM 002 原子力発電所の保全情報等に関する調査
- ・ JSM EFR 002 高速炉冷却材バウンダリ破損に関するレジリエンス評価
- ・ JSM MAD 001 原子力発電所の保全情報等に係る調査委託

(2) 学術的会合（主催*、共催**）

- ・ 第 14 回学術講演会*
(2017 年 8 月 2～4 日 ひめぎんホール (愛媛県松山市))
- ・ 第 8 回保全科学サマースクール**
(2017 年 7 月 30 日～8 月 4 日 東北大学 (日本・仙台))
- ・ ISEM 2017**
(2017 年 9 月 3 日～9 月 6 日 Chamonix-Mont-Blanc (フランス))
- ・ ENDE2017**
(2017 年 9 月 6 日～9 月 8 日 Saclay (フランス))
- ・ 第 18 回保全セミナー「原子力発電所の更なる安全性向上及び検査制度の大改革に向けて」*
(2018 年 2 月 14 日 於：東京大学・武田ホール)

(3) 研究調査活動

- ・ 会費制による分科会
 1. 回転機器の状態監視技術高度化に関する調査検討」分科会 (CMT 分科会)
- ・ 自主研究による検討会
 1. 原子力安全規制関連検討会
 2. 保全標準化推進検討会
 3. 事故・故障事例検討会
 4. 核融合中性子の高度利用による消滅処理検討委員会
 5. 原子力保全ハンドブック検討会

(つづく)

Ⅲ. 会員現況(2018年3月31日現在)

(一社) 正会員 510名 学生会員 24名

<2017年4月1日～2018年3月31日の入退会者>

正会員入会者 55名 学生会員 9名

正会員退会者 29名 学生会員 2名

(一社) 法人会員 57社(93口)

<2017年4月1日～2018年3月31日の入退会者>

入会 1社(北陸発電工事株式会社)

退会 1社(株式会社 IHI)

以 上